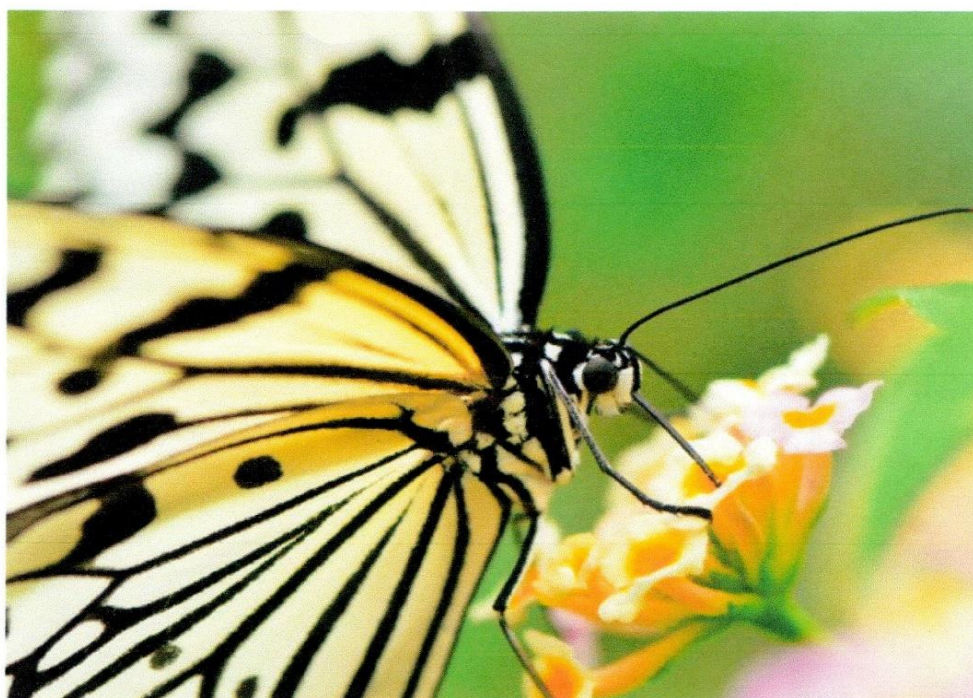


昆虫写真の撮り方

【Checkpoint】

- ✔ : 望遠マクロレンズが便利 少し離れたところからアップで撮れるので昆虫の撮影では有利です
 - ✔ : ピントは目に合わせよう 生き物は目にピントを合わせるのが基本です
 - ✔ : ISO感度はオートにしよう 被写体ぶれを防止するときは手動で高感度に設定しましょう
 - ✔ : たくさんシャッターを切ろう 昆虫はじっと待っていてくれないのでどんどん撮りましょう
 - ✔ : 昆虫のことを知っておこう 昆虫の生態などを知っておくことで効率よく撮影できます
-



ピントは目にしっかり合わせよう

生き物の撮影では「目」にピントを合わせるのが基本で、昆虫も例外ではありません。表現として意図的にほかの部分にピントを合わせることもありますが、それ以外は目にピントが合っていないとピンぼけとなります。

100ミリマクロ 絞り優先オート (F5.6、1/250秒)
+0.7EV ISO800 WB: オート シングルAF

自然の中でたくましく生きる

昆虫たちの姿を撮影しよう

昆虫に近づくと、ほとんどの場合はすぐに逃げてしまいます。近づかないと小さな昆虫をアップで写すことはできません。このあたりは昆虫の生態などを知ることによってカバーできたりしますが、望遠マクロレンズを使用することで、標準マクロレンズより離れてもアップで写すことができます。

マクロレンズを使ったクローズアップ撮影では被写界深度が極端に浅くなるため、絞りの開けすぎには注意しましょう。じっとしていない昆虫は少し動いただけでピンぼけになってしまいやすいです。また、昆虫の目にしっかりとピントが合っているにもかかわらず、体がぼけすぎて何だかよくわからなくなってしまうことがあります。絞りを開けなくても背景は十分にぼけるはずですが、見せたい部分がシャープに写るよう状況に応じてアングルを変えたり、絞りを絞らしましょう。

シャッターチャンスへの対応やピントの確実性を高めるには連続撮影が有効です。また、クローズアップ撮影では手ぶれが起りやすいのでISO感度はオートが便利ですが、被写体ぶれ防止に必要なシャッター速度までカバーできるとは限りません。状況に応じて手動で適切なISO感度に設定しましょう